



ヨゼフ アベイヤ司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行人 浦川 務
編集人 浦川 務
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 1部70円

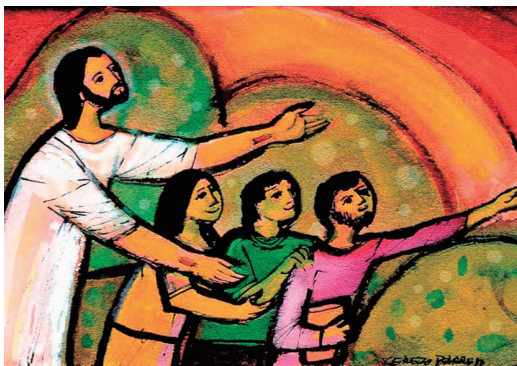
1月の意向

教皇の意向のために祈りましょう
【教皇の意向】 みことばによる祈り
【日本の教会】 平和と幸せ

新年巻頭言

ともに歩み続けましょう

ヨゼフ・アベイヤ司教 福岡教区長



イエスとともに歩む (画：MINO CEREZO 神父)

主が御顔をあなたに向
けて、あなたに平安を賜
るように。」(民数記6・
24-26)

2025年を
振り返って

「希望の巡礼者」とし
て歩んできた聖年は閉幕
しました。2025年は
私たちの心に強く響く出
来事が多かったように思
います。戦後や原爆の80
周年、長年教会を導き日
本も訪問された教皇フランシ
スコのご逝去、新しい牧者とし
て与えられた教皇レオ14世
の誕生などです。残念ながら、
平和のために働く多くの人々
や団体の努力にもかかわらず、
世界の色々なところでも
だ戦争が多くの人々に多大な
苦しみを負わせています。そ
の中でキリスト者は、希望を
もって諦めず、一人ひとりの
人間の尊厳が守られ、神の望
みでおられる調和に満ちた世

教区創立100周年
に向けて

福岡教区として、2027
年に祝う教区創立100周
年の準備を続けてきました。
2024年から2025年6
月にかけて、「互いに支え合
う交わりの教会となる」とい
う教区の宣教司牧方針の一
つの柱をテーマにしてさま
ざまな企画が行われました。
2025年の7月からは宣教
司牧方針のもう一つの柱であ
る「未来に開かれた教会とな
る」を中心に準備を続けてい
ます。特に、青少年の宣教司
牧の活性化や外国から来られ
ている信徒とのつながりを深
めることを目指して歩んでき
ています。教区、地区、小教
区で色々な活動を企画され
ています。まだ今年の7月
に新しいテーマに入るまで半
年が残っていますので、各地

「ともに歩む教会」を
目指して、
シノドスの歩みを
大事にしましょう

お互いに丁寧な耳を傾け
て、神が兄弟姉妹をおとし
て何を語ってくださるかを祈り
ながら考えます。そして、謙
虚に自分自身が祈りのうちに
感じたことを皆と分かち合
います。このプロセスを通して、
新たな道が見えてきて、希望
をもって歩み続けることがで
きます。祈りが伴わないなら、
自分のことばや態度は人を傷
つけ、分裂をもたらします。
聖霊の恵みは平安と喜びなの
です。

今年も「ともに」歩み続け
ましょう。
ヨゼフ・アベイヤ

キリスト教一致祈禱週間
1月18日(日)～25日(日)

2026年テーマ

「からだは一つ、霊は一つです。それは、あなた
がたが一つの希望にあずかるようにと招かれて
いるのと同じです」(エフェソ4・4)

キリスト教諸教会では、毎年この1週間を「キ
リスト教一致祈禱週間」と定めています。

教皇庁キリスト教一致推進評議会と世界教会
協議会は1968年以来、毎年テーマを決め、「礼
拝式文」や「8日間の黙想と祈り」を作成して
います。

※掲載小冊子は右記QRコードからご覧ください。

【合同礼拝】

日時：1月18日(日)16時～17時

開場：日本聖公会福岡聖パウロ教会
(福岡市中央区草香江2-9-22)



【世界奉獻生活の日】
感謝ミサ

聖ヨハネ・パウロ2世教皇は、主の奉獻の祝日
である2月2日を「世界奉獻生活の日」と定めま
した。すべての信者は、奉獻生活の賜物を感謝し、
この道を生きるように召されている兄弟姉妹のた
めに祈る日になっています。

福岡教区でもこの日を祝うためにミサを捧げま
す。(参加できない方のためには動画配信有り)
<スケジュール>

日時：1月31日(土)

14:00 感謝ミサ(司式：ヨゼフ・アベイヤ司教)

場所：カテドラル・カトリック大名町教会

※動画は福岡司教区ホームページ

<https://fukuoka.catholic.jp> か

右記QRコードからご視聴ください。



能登半島地震から2年

2024年1月1日、日本中が新年の祝いのに
ぎわっていたときに、能登地方を襲った大き
な地震から2年が経ちました。

多くの方が今もなお、悲しみ、苦しみ、不
安のうちに生活しておられることを心に刻み
祈りましょう。すべての人の苦しみを担われ、
復活の希望と光を示してくださったキリスト
が共にいてくださることを、私たちが証しで
きますように。(福岡教区災害被災者支援室)

時の話題

元日 世界平和の日

カトリック教会は、年の
初めの日を「神の母聖マリ
アの祭日」と定めています。
そして1968年、教皇聖
パウロ6世は、この日を「世
界平和の日」と定め、その
上、この
日の祈り
に、毎年、
特別な意
向を含め
るよう
に提言され
ました。
それ
を受けて、
教皇レオ
14世が、2026年元日「世
界平和の日」の祈りに加え
るようにお選びになった意
向は、「武器を放棄し、武
器を放棄させる平和を！」
です。この言葉は、今も世
界中の60余りの国々での戦争
や地域での内紛が絶えない悲
惨な状況を悲しむローマ教皇
が、全世界の教会と平和を求
めるすべての人々に向けて出
している心の叫びです！
元日には、多くの人々が神
社を参詣します。バチカンの
諸宗教対話省は、毎年、元日
に合せて、神道の皆さまへ
新年メッセージを発していま
す。カトリック教会の信仰を
いだいている私たちは、元
日の「神の母聖マリアの祭日」
また「世界平和の日」に合
せて、「平和の女王」である
聖マリアの取次によって祈り
を捧げ、そして、神道やその
ほかの宗教の人々とともに、
あらゆる戦争と紛争がひと
時も早く無くなり、世界に平
和が実現しますようにと二つ
の祈りを一つに合せて祈り

ましよう。
昭和10年(1935年)
に生まれた私には、第二次
世界大戦の思い出がいっぱ
いあります。その中で、隣
の家に住んでいたある母親
の悲痛な泣き声が今も、心
の中に聞こえてきます。泣
き声は、「ご息が、戦死し
たという知らせを受けたと
きでした。
世界には今なお、多くの
国で戦争や紛争がありま
す。すべての人の母である
マリア様とともに「平和の
祈り」を捧げましょう！
明けましておめでとうご
ざいます！
フランコ・ソットコルノラ
(聖ザベリオ宣教会、真命
山・諸宗教対話センター) 神父

ともだちのみなさん



子どもたちやベトナムの青年たちと(菊池教会司牧訪問にて)

わたしはさまざまなきよう
かいをたずねるときに、みな
さんとあうことをたのしみに
しています。
じしやをやってくれること
もたがいます。とてもうれ

ときがあるとおもいます。そ
んなときも、かみさまは、ず
とあなたがたをみまもって
くださいます。
にちようびに、きようかい
にあつまってかみさまに

しいです。げ
んきがでま
す。ぎやくに、
こどもたちが
いないとき
しくかんじま
す。きつとイ
エスさまも
うだったとお
もいます。
みなさんは
まいにち、い
えにいたり、
がっこうでべ
んきようした
り、ともだち
とたのしくす
ごしたりする



楽しい分かち合いのとき(菊池教会司牧訪問にて)

しゃします。そして、また、
あたらしいいつしゅうかんの
あいだをみまもってください
とおのりします。
きようかいでいつしよにお
いのりしたいのです。これか
らみなさんにあうことをた
のしみにしています。
ヨゼフ・アベイヤ



私たちは日常生活において
言葉を用いて意思を伝え、他
者を理解し、その心に触れる
ことが出来ます。私たちの意
思は言葉となって表現されま
すが、それは「おと」として
発せられ、文字によって表さ
れます。私たちが発する音と
しての言葉は、「平仮名」「カ
タカナ」「漢字」を用いて文
字になります。「平仮名」「カ
タカナ」は「おと」で表すこ
とが出来ますが、意味を表す
ことにおいて不十分なもので
す。なぜなら、同じ文字で異
なったものを表すからです。
しかし、表音文字だけでは曖
昧なものも「漢字」を用いる
ことによって、言葉は具体性
を増し、理解を助けてくれま
す▼私たちは、「ひと」と呼
ばれ、「にんげん」とも呼ば
れます。そして、それぞれ「人
」と「人間」と表記します。私
たちをこのように表記する漢
字は、私たちがどのようなも
のであるかを如実に表してい
ます。つまり、私たちは、お
互い支え合うものであり、常
にだれかの間にあり、包まれ
ながらだれかを包む、関わり
と絆のうちに歩むものだから
です。▼私たちは、新しい年
の扉を開きました。2027
年7月16日に教区創立100
周年を迎える私たちは、3年
間の準備の期間の折り返し点
にあります。今年の7月より、
最後の準備として『出向い
て行く教会』となる』掲げ
て歩みだすことになりました。
7月までの期間に「未来に開
かれた教会となる」について、
他者との関わりや絆の中で生
きる者としてのあり方をポイン
トに置き、一番身近な関係
特に家族、兄弟、友人との関
係を見つめ直してみてもどう
でしょうか。(1)

◆ 福岡教区創立 100 周年に向けて ◆

2027 年 7 月 16 日、福岡教区は創立 100 周年を迎えます。これを受け、教区報では、各小教区や団体が 100 周年に向け取り組んでいること、心がけていることなどについて具体的な活動を紹介していきます。「創立 100 周年」の情報は右記 QR コードからご覧になれます。



巡礼指定教会の取り組み
7. 浄水通教会

スタンプ、オリジナルポストカード、聖霊の続唱カードを準備



福岡教区創立 100 周年を迎えるにあたって、浄水通教会は二つのことに心をとめています。教会というとき、どちらかと言えば聖堂を思い浮かべますが、草創期の信者は「この道の者」と言われました。イエスを神、救い主として信じていたからです。浄水通教会は「イエスと出会い、イエスにおいてお互いが出会う「場」とあると思っています。「自分たちが教会である」、「自分たちの教会は自分たちの手で」という目標のもとに自主的に行動し、分かち合いの場を持つようになっています。教会の現状を見つめたり、信仰体験を話してもらい、自分たちの信仰を見つめなおし、未来に向かっての心構えを持つように努めています。これからもこのような分かち合いが計画されています。

また、「巡礼指定教会」になってから、団体、グループ、あるいは友だち関係の人たちが教会を訪れています。聖櫃の前で立ったり座ったりして聖歌を歌ったり、祈りを唱えたりされています。教会の歴史とか、信仰者としての体験を話すこともあります。そして、聖堂の外観や内部を撮って、記念にしている様子が度々うかがえます。

聖堂は聖霊に奉献され、閑静な場所にあり、築 70 年を超えています。地震にあったりして度々修復していますが、「静かで落ち着いた雰囲気」とか、「教会らしい教会」、「ステンドグラスがいいね」という声を耳にします。

これからも地域に根ざした教会でありたいと思っています。

主任 牧山 勝美 神父

第3回 教区全司祭集会



ローマ留学の修士論文を発表する船津神父

今年度第3回福岡教区全司祭集会が、11月25日大名町教会で開催された。はじめに、聖ドミニコ修道会会員で日本語の勉強を始めるヨハネ・ペレイラ助祭の紹介が行われ、祈りをもって開会した。

午前はローマでの留学から帰国した船津亮太神父が修士論文の発表を行った。船津神父は、福岡教区で司祭が1人欠けた状態になりながら、司祭たちが応援してくれたこと

に感謝の気持ちを表した。アペイヤ司教からは、「ローマでの生活も奉仕の一つ」と言われていたので、今回の発表も奉仕の一つと述べ、留学生活の様子を紹介し、論文として選んだ創世記のヤコブの夢の箇所から、聖書神学に基づく分析方法を説明した。質疑応答では、ヘブライ語で聖書原文を聴きたいとの先輩司祭からの要望で、船津神父がすらすらと読み始めると司祭たちから感嘆の声が上がった。

午後は、実施3年目になる日本語ミサの「新しい式次第」の振り返りを分かち合った。アペイヤ司教からも、典礼を丁寧かつ創造的に行うこと、侍者はまず子どもが、いなければ女性も含めた大人が奉仕職の一つとして行う方がよいなどの意見を述べられた。そのほか、マルセル・コース神父

海を越え
心と心を繋ぐ日韓交流

海は陸地と陸地を隔てているのかもしれないが、心と心を隔てるものではない。無数にあるであろう両国交流のひとつとして、今年で27回目を迎えた日韓の司教の交流もそれを教えてくれている。現在日本で司牧を行う韓国人司祭も40人を超える。彼らの親睦交流会も、6年ぶりに旧カトリック神学院で開催された。

日韓司教交流会

例年通り、今年も日韓司教交流会が11月17日から20日まで行われた。戦後と原爆投下から80周年ということで、今年の交流会は広島で開催されました。ほとんどの司

(パリ)外国宣教会帰国後の美野島司牧センターの活動状況が運営委員長の飛永薫氏より説明され、引き続き物的霊的支援が要請された。また、青年たちの仁川教区訪問報告、福岡教区を離れる聖ドミニコ修道会のマリアーノ・ゴンザレス神父のことも紹介された。

大名町教会主任 田中重治神父



大名町教会で韓国から到着した司教団を出迎える
広島教区の白浜満司教(右から2人目)とアペイヤ司教(右)

そこでは長生炭鉱水没事故の現場を訪れ、多くの朝鮮半島の方々を含めて命を失った事故について説明を受け、遺骨収容のプロジェクトの紹介にも耳を傾けました。そしてともに祈りを捧げたのです。

広島では、原爆の恐ろしさを思い起こしながら、国籍を問わず命を奪われた人々の苦しみを思いこでも祈りを捧げました。そして一同、朝鮮半島出身の犠牲者の記念碑の前に、人権を守り平和のために諦めず働く決意を改めて確認しました。また、2027年の8月にソウルで行われる

日本で司牧する
韓国人司祭の集い



宣教師として初心新たに

12月1日から2泊3日の日程で、旧福岡カトリック神学院において「在日韓国人司祭の集い」が開催されました。前回の広島教区(下関)での開催以来、新型コロナウイルス感染症対策のために長らく中断を余儀なくされていましたが、今回6年ぶりの再開が実現しました。

全国から23人の司祭が福岡の地に集まりました。久しぶりの再会を喜ぶ声と共に、今回の初参加となる司祭も半数を数えました。期間中、参加者たちは日本での司牧における喜びや苦労、宣教師としての体験を分かち合いました。

最終日には、福岡教区のヨゼフ・アペイヤ司教の司式によりミサが捧げられました。この日は「日本宣教の保護者聖フランシスコ・ザビエル」の祝日にあたり、司祭たちは宣教師としての初心を新たにしました。

ジョン・ウォン・チョル神父・韓国テグ教区司祭(戸畑・若松教会主任)

主のご降誕と新年の
お慶びを申しあげます

教区長	ヨゼフ・アペイヤ	小郡	岩下 和樹
名譽司教	宮原 良治	(長崎大司教区)	
司教総代理	中村 彰	久留米	宮崎 保司
教区本部事務局長	十時 伸治	二日市	竹森 勇
教区本部会計	青木 悟	雪の聖母会・聖マリア病院	
司教館(日本語研修)	キム・ドウカン	G・ピアッツィニ	
ファン・フォン・フウン	ケン・スレイマン	聖マリア学院大学	
(引退)	渡辺 隆義	飯塚・田川	
司祭の家		飯塚・田川	
大 楠	D・ジョンソン	黒崎・天神町	キム・ソンチョン
古 賀	O・ベルナルド	小 倉	杉原 寛信
糸 島	R・フィリピーニ	戸畑・若松	青木 悟
(協力、鹿児島教区)	山口 好信	新田原	谷口 尚志
笹 丘	L・オドヘティ	戸畑・若松	尚志
浄水通	桑原 篤史	湯 川	ジョン・ウォン・チョル
大名町(能古島)	牧山 勝美	門 司	B・ロザイロ
ファン・ヴァン・チュエン	田中 重治	直 方	ルーカス・レック
高 宮	K・プラビン	湯 川	キム・ジョンギン
茶 山	T・サンタム	行 橋(豊津)	イム・ドンビン
西 新	R・フィリピーニ	佐 賀	下町 豊重
箱 崎	G・マリリアノ	鹿島・武雄	S・リチャード
(助祭、ヨハネ・ペレイラ	ソクケン	唐 津	イ・ハヌン
光 丘	船津 亮太	佐 賀	江 夏
吉 塚(南粕屋)	寺 濱 亮司	鳥 栖(基山)	牧山 美好
老 司	大山 悟	呼子(松島)・馬渡島	岩下 和樹
(管理者、サン・スルピス司祭会	大西 徳明	トラピスチナ	D・アルビン
旧カトリック神学院		荒尾・玉名	岡崎 才蔵
(サン・スルピス司祭会)		武蔵ヶ丘(恵楓園)	平田 三好
美野島司牧センター	牧山 勝美	崎 津・大江・本渡	
D・ジョンソン	熊川 幸徳	手取・帯山	井手 公平
大濠会館・宣教養成センター		菊 池(山鹿)	シム・トウキ
R・フィリピーニ		健 軍(高遊原)	S・ダロイト
今村・本郷	浦川 務	人 吉	A・トウルコ
(協力、サン・スルピス司祭会)	中尾 直通	八代・水俣	F・マツケイ
大牟田	川上 惣一	真命山	C・クラウディオ
		スペイン・マドリッド教区から	S・フランコ
		ヘスス・C・ロドリゲス	

サンパウロ 福岡宣教センター

営業時間: 10:00~18:00
定休日: 日曜日・祝日

〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26
tel. 092-721-2032 / fax. 092-739-3930
E-mail: fukuoka@sanpaolo.or.jp

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

(株)ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

総合建築業

- ・一般住宅(新築・改築工事)
- ・鉄骨工事
- ・RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 **森山工務店**

ヨゼフ 森山新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

カトリックの教会葬
共に祈り・共に送る

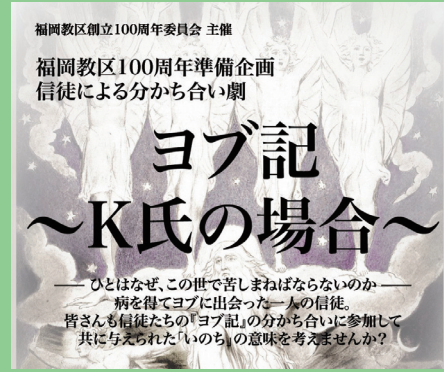
株式会社 **みこころ舎**

問合せ
050-3032-1333

教区創立100周年委員会

教区創立100周年準備企画 上演劇「ヨブ記～K氏の場合」

期日：2026年2月23日（月・祝）
場所：カトリック大名町教会大聖堂
時間：13時開演 終了後 感謝ミサ



福岡教区100周年行事専門委員会では、教区創立100周年準備企画として分ち合い劇【ヨブ記～K氏の場合】の上演を行います。脚本は信徒によるオリジナル、演出もキャストも音楽も、全てが信徒による手作りです。私たちは日常生活の中で、様々な試練、苦難に遭遇、「なぜ、どうして」と問い、救いを求めヨブ記に出会います。教区創立100周年を喜びのうちに迎える準備として、皆さんもこの分ち合い劇に参加して、希望のうちに共に与えられた「いのち」の意味を考えてみませんか。

劇終了後、参加者それぞれにヨブ記への思いを文字にさせていただき、これを、引き続いてアベイヤ司教様司式によって捧げられる感謝ミサの中で奉納することを計画しております。実り多き四旬節の一日となりますように。

教区創立100周年委員会 行事専門委員会委員長 濱崎 公夫

- 2027年に福岡教区創立100周年を迎えるにあたっていろいろな計画が企画準備されています。その前に個人的なことですが、ある方から聞かれました。100周年に向かっているけれども「あなたは盛り上がりつつありますか」と。突然聞かれたので私はドキッとし、委員会には出席しているが、自分の中で盛り上がりつつあるかなと問うてみるとそれほどではないの思いでした。でも今回の委員会ですべての具体的な活動が現れてくるような気がしました。委員会の報告をします。
- (1) 100周年記念ミサは2027年7月4日（日）、会場はマリメッセ福岡B館。
 - (2) 典礼委員会では記念ミサの会場設定、進行などについて検討を開始。
 - (3) 広報委員会ではオンライン
 - (4) 行事専門委員会では、100周年記念グッズとしてロゴ入りTシャツ、ポロシャツのサンブルと記念の缶バッジを作成し小教区に配布。申込み予約、献金をお願いする。
 - (5) また、100周年記念の劇「ヨブ記～K氏の場合」の上演を計画、準備を行っている。
 - (6) オペラの企画は予算上中止となったが、代わりに講演会が提案される。
 - (7) 100周年記念誌は1冊1000円～1500円で頒布、献金をお願いする。以上、私自身まず、主日のミサ前とミサ後にポロシャツを着て信徒に知らせ、盛り上がりつつもなおうかなと思います。
 - (8) 武蔵ヶ丘教会 平田三好神父

第3回 司祭不在のときの主日の集会祭儀 「司会者」養成講座



講師の櫻井神父

11月16日、大名町教会において開講された本講座では、講師の櫻井尚明神父（手取・帯山教会主任）がユーモアを交えながらも、原点ともいえる「信徒とは何か」ということである。この点において櫻井神父は次のように説いた。信徒とは「この世的な事柄に深く関わる者」「神の方へ向かわせる者」「自発的に行動する者」「自分が教会を背負っているという自覚をもつ者」「最前線にある者」「派遣された者」である。

そもそも聖職者でも奉獻生活者でもない信徒が、集会祭儀の司会を務めることができるのか。突き詰めていくと「キリストの愛を思い起こし、味わう」「イエス」ととの「黙想会」。

静かに「自分自身」や「イエス様」の声に耳を傾ける時間を目的に企画し、青年8人、講師2人、福岡地区青年会担当のルカ・ジョン・ソックン神父様（聖ドミニコ修道会・箱崎教会助任）の合計11人が参加した。全体のファシリテーターと講師を青年会OGの安藤智子さん（西新教会）に、もう一人の講師は旧カトリック神学院の牧山強美神父様（サン・スルピス司祭会）をお願いした。

黙想会では、聖書の言葉や

安藤さんの実体験による講話「私の分岐点と選び」、牧山神父様からは「イエスはすべての人の道」として、「自由とは何か」「愛とは何か」といった哲学的な講話を聞き、黙想と分ち合いを重ねた。最後は聖体顯示が行われ、イエス様との交わりを持つて終了した。

参加者からは「静かな黙想の中で、神様がそばにいてくださることに改めて気づき、心強く感じた。毎日繰り返される生活の中で、いつのまにか神様から心が離れてしまうこともある。だからこそ、黙想会のような祈りの時間を少しでも持ち、神様が共にいてくださることを感じながら、神様に頼りつつ、私も小さくても愛を実践していきたい」と思った。しかし日常に戻ると、黙想会直後の思いをもう忘れかけている弱い自分にも気づかされ、改めて、黙想会とききの気持ちを思い出している」といった声も寄せられた。私自身にとっても満たされた時間となり、与えられた恵みを今後も深めていきたい。

大名町教会 荒牧 結花

11月22日、大濠カトリック会館・宣教養成センターにて、女性の会主催の一日黙想会を行いました。ヨゼフ・アベイヤ司教の同伴で、50人ほどが参加しました。

プログラムは、①グループでの分ち合い②講話と質疑応答③昼食④個人黙想⑤グループでの分ち合い⑥ミサ。テーマは、「この上なく愛し抜かれた（ヨハネ13・1）イエスの受難、死、復活を黙想する」。以下、会員の感想をご紹介します。

福岡地区カトリック女性の会 会長 荒川 優子

「初めての参加。皆さんの話を伺って、私にはまだまだ信

仰心が足りない」と自覚。皆さんご意見を沢山言われた。司教様のお話も分かりやすく、参加させて頂いて良かった。「日頃気づかない色々な事、改めて皆様と分ち合いをする事で、大切な事を取り戻す事ができた。いい時間を持てた」

「分ち合いで皆さんのそれぞれの言葉を聞きながら、神様の向かい方を改めて考えた。司教様のお話はとても心に響いた。『イエスの受難と死は、最高の従順と愛のしるしです。』信仰とは、イエス様が歩まれたこの信じる道を、どう表して生きていくかと問うことと黙想した」

「以前のような、講話を聞きミサに与るという形式ではなく、分ち合いを含めた気づくことへの導入を大切にす

ド・ロさま
株式会社サンフリード ド・ロさま麺工場
長崎市西出津町2528-1
TEL(0959)23-0610
FAX(0959)23-0611

右記URLからご注文できます

長崎スパゲッティ Since 1883

社会医療法人 雪の聖母会

聖マリア病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115

聖マリアヘルスケアセンター
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5
TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306

信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん
と一緒に働いてみませんか

URL: <http://www.st-mary-med.or.jp/>

♪ウクライナ人道支援 チャリティーコンサート♪

（左から）ピアノ：井上友里子氏、バリトン：横山浩平氏、ヴァイオリン：桑田幸実氏、トロンボーン：永山千尋氏

11月23日、今年も南粕屋教会（寺浜亮司神父）では、今なお続く紛争のため祖国から避難をしているウクライナの方たちを招き、4回目となるチャリティーコンサートが開催された。

例年の歌唱とピアノに加え、今年はヴァイオリンとトロンボーンも加わり、それぞれの楽器の音色も楽しみながら、聖歌にクラシック曲、加えてアニメやラジオドラマの主題歌など多彩な楽曲に聴衆は魅了された。最後は大きなアンコールの拍手に「オー・ホーリー・ナイト」が披露され、一足早くクリスマスの気分も味わった。

コンサートの初めに、2023年3月よりウクライナ支援をスタートさせたNPO法人グローバルライフサポートセンター代表の山下ゆかり氏から、避難民の在留について説明があった。入管法や、在留が認められ適法に在留する要件が記された「在留カード」（常時携帯が義務。福岡教区で司牧をする外国人司祭は全員所持）、入国後の滞在についてなど、参加者は真剣な表情で聞き入っていた。そして避難民が抱える不安について触れ、必要となる支援や、円滑かつ迅速な受け入れ体制と持続的な支援体制の構築のためにも、継続的な協力と支援を願った。

この日は昨年に続き、カリタスジャパン（カトリック中央協議会の内部委員会）から横山葉子氏も来福し、国際カリタス（本部はバチカン、現在160以上の国や地域の組織が加盟）におけるウクライナ支援への取組みの報告もなされた。横山氏は「カトリック教会が存在するところにはどこでもカリタスの活動拠点が存在する」と、草の根組織である国際カリタスの強みを強調した。

福岡教区にも10月に「福岡カリタス」が発足した。「カリタス」はラテン語で「愛・神の愛」を意味する。どこにでも活動拠点が存在することを、南粕屋教会共同体が示してくれている。

年間目標 『未来に開かれた教会』となる

教区創立 100 周年のミサを「緑色」で埋め尽くそう！！

教区創立 100 周年
ロゴマーク

100 周年のロゴの入った T シャツ・ポロシャツができました。詳細は各教会にお知らせしています。

創立 100 周年記念ミサ当日だけでなく、今からでも折に触れ袖を通し、気持ちを一つにして 2027 年 7 月に向け歩んでいくことができますように。

詳細は
QR コードから上段左から：深緑 T シャツ表裏、深緑ポロシャツ表裏
下段左から：海松色 T シャツ表裏、白ポロシャツ表

～一緒に聖書の理解を深めてみましょう～

聖書勉強会



毎月 第 2・第 4 水曜日
午前の部 10:00～11:00
夕方の部 19:00～20:00

[1月の日程] 1月14日(水) 1月28日(水)
[ファシリテーター] ヨゼフ・アベヤ司教(福岡教区長)
[場 所] カテドラル大名町教会
[問合せ先] ☎ 092・741・3687 (大名町教会)
※2026 年 1 月から始まる聖書勉強です。
どなたでも参加できます。

テゼの歌を用いた黙想と祈りの集い
～キリスト教一致祈禱週間(1月18日～25日)に思いを寄せて～

[主催] 宣教養成委員会
[日時] 1月22日(木) 19時半～約1時間
[場所] 大名町教会小聖堂
ろうそくを見つめ、テゼ共同の短い歌を繰り返し歌って祈ります。
キリスト教一致のために祈りを捧げ、黙想する時間を過ごしませんか？

大名町教会 ホームレス支援 スープの会

2月から3月の2週目までの毎週金曜日に炊き出し

【調理ボランティア】

14時～ 大名町教会 1階厨房

【夜回り(配布)ボランティア】

19時 初参加者レクチャー

20時 夜回り準備(袋詰め)

20時半 参加コース確認

21時 各コース夜回り出発

【献品】

テレホンカード、防寒着、冬服、
新品の下着・靴下、リュックサック(大)

【問合せ先】

☎ 080・1793・0481 深堀

☎ 080・4317・4152 飛永 ☎ 090・8412・7803 前田



— 召命を共に祈る会 —

福岡地区 1月20日(火) 13時30分～ 大名町教会
ミサと分かち合い 司式:船津亮太神父(光丘教会)
[問合せ先] ☎ 090・6422・2257 (山口)

北九州地区 1月10日(土) 14時～ 小倉教会
ミサと茶話会 司式:鄭元喆神父(戸畑・若松教会)
[問合せ先] ☎ 0949・24・9905 (藤井)

熊本地区 1月15日(木) 9時30分～ 健軍教会
ミサと分かち合い 司式:中村信哉神父(健軍教会)
[問合せ先] ☎ 096・369・8896 (松上)

— 各種団体の定例会 —

詳細につきましては、福岡教区ホームページ「教区報1月号」、または
右記 QR コードからご確認ください。



福岡教区広報室アドレス
https://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案内板 会合と催し

1月のこよみ

福岡教区創立 100 周年に向けて
かつどう・できごと掲示板

「シノドス的」な教会の歩みを推し進めましょう！

2027 年 7 月 16 日まで

あと 18 ヶ月

2025～2026 年 7 月

テーマ：未来に開かれた教会となる

様々な記念企画が具体化し進行しています。
2027 年 7 月 4 日(日) 創立 100 周年記念ミサ
会場はマリンメッセ福岡 B 館です。「緑色」の T シャツ・ポロシャツで会場が埋め尽くされますように。
(左欄をご覧ください)

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ：祈りの人々と出会う「主はご自分の親しい人に御旨を示される」(詩編 25・14)
日 時：1月8日(木) 10時～15時
内 容：アブラハム：執り成す人
「アブラハムは主の前にとどまった」
次 回：2月12日(木)
内 容：モーセ：呼びかけに応える人「ここにおります」
問合わせ先：真命山諸宗教対話センター
☎ 0968・85・3100 FAX 0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蜻浦 1391-7
E-mail shinmeizan@gmail.com
☆個人またはグループでの黙想会、研修会も歓迎いたします(要予約)

集いの詳細は、
各問合せ先に
お尋ねください。

■美野島司牧センター
○ホームレスの方に温かい食事と衣類 毎週火曜日 10時
○ホームレス支援炊き出し 毎週金曜日
調理 14時 夜回り 21時
路上からアパートに入居した方を訪問 第3土曜日 14時
[問合せ先] ☎ 092・431・6765

1419 ジョンソン・デソーザ神父
■大濠カトリック会館・宣教養成センター
○ミニアサロン大濠
第1・第3水曜日 10時
[問合せ先] ☎ 092・753・6765
第4木曜日 10時
[問合せ先] ☎ 092・753・6765 大濠カトリック会館

福岡教区人事異動

◆S・サミット助祭オブレト会 小郡・鳥栖教会協力(3月まで)

編集後記

「ベトナムの方のカップルの結婚式をします。新郎新婦のリクエストで全て日本語がいいとのこと。彼らは一生懸命練習し、信徒はいつもの如く手作りで頑張って準備して

います」と情報が届きました。外国語(母国語)での結婚式は行われていますが、外国の方が日本語で結婚式を挙げると聞き「ぜひとも原稿を！」とお願いしました。すぐに届けられた原稿には、日本での生活や、日本語で結婚式をと思った気持ち、準備の苦労と喜びなどびっしりしたためてありました。そして原稿の最後に添えてあった主任司祭からの言葉「日本で普通に結婚し、幸

は行われていますが、外国の方が日本語で結婚式を挙げると聞き「ぜひとも原稿を！」とお願いしました。すぐに届けられた原稿には、日本での生活や、日本語で結婚式をと思った気持ち、準備の苦労と喜びなどびっしりしたためてありました。そして原稿の最後に添えてあった主任司祭からの言葉「日本で普通に結婚し、幸

【1月】

1日(木) 神の母聖マリア 世界平和の日
ミサ 主司式(大名町教会)
4日(日) 主の公現 貧しい協働体ナザレの家 司牧訪問
11日(日) 主の洗礼 帯山教会司牧訪問
16日(金) SH委員会会議(Zoom)
18日(日) 年間第2主日 武蔵ヶ丘教会・恵楓園司牧訪問
キリスト教一致祈禱週間(～25日)
キリスト教一致祈禱会(福岡聖パウロ教会)
20日(火) 教区司祭評議会、顧問会(大名町)
24日(土) 大江・崎津・本渡教会司牧訪問(～25日)
25日(日) 年間第3主日 神のこぼの主日
世界こども助け合いの日(献金)
27日(火) 教区全司祭集会(大名町)
30日(金) 福者小笠原玄也一家殉教記念日
31日(土) 教区主催・世界奉獻生活の日 感謝ミサ 主司式(大名町教会)

【2月】

1日(日) 年間第4主日 荒尾教会司牧訪問
教区宣教司牧評議会
2日(月) 主の奉獻 世界奉獻生活の日
5日(木) 日本26聖人殉教者

■ゴシックは司教日程

※福岡教区で奉仕された司祭の帰天日は右記
QRコード、または教区ホームページのカレンダーでご確認ください。



Lễ cưới được cử hành bằng tiếng Nhật

(日本語で行った結婚式)

Anna LÊ THỊ CẨM TÚ & Yosef NGUYỄN MẠNH GIANG (Viet Nam)

Tâm tình khi bước vào đời sống hôn nhân (結婚生活への思い)

Chúng tôi xin tạ ơn Chúa vì đã dẫn dắt hai đứa trẻ gặp gỡ, tìm hiểu và quyết định cùng nhau bước vào đời sống hôn nhân. Khi chuẩn bị cho lễ cưới, chúng tôi cảm nhận rất rõ sự hiện diện và gìn giữ của Chúa trong từng việc nhỏ. Quyết định kết hôn đối với chúng tôi không chỉ là sự gắn bó của hai con người, mà còn là lời hứa cùng nhau xây dựng một mái ấm đặt nền tảng trên yêu thương, sự tha thứ và lòng tin tưởng vào Thiên Chúa.

Chúng tôi mang trong lòng niềm vui lớn lao, nhưng đồng thời cũng ý thức trách nhiệm của đời sống gia đình. Cả hai cầu xin Chúa ban cho sự khôn ngoan và kiên nhẫn để có thể đồng hành với nhau trong mọi hoàn cảnh, và để luôn biết gìn giữ tình yêu này bằng những điều nhỏ bé mỗi ngày.

Lý do quyết định tổ chức đám cưới bằng tiếng Nhật

(日本語で結婚式を行おうと決めた理由)

Chúng tôi là vợ chồng đã sống ở Nhật Bản lâu năm, và các mối quan hệ được xây dựng ở Nhật Bản rất quan trọng đối với chúng tôi.

Khi lần đầu tiên đến thăm Nhà thờ Công giáo Minamikasuya, mọi người đã chào đón chúng tôi rất nồng nhiệt, không khí ở đó rất thoải mái, và chúng tôi đã rất thích nơi này.

Vì vậy, chúng tôi muốn tổ chức đám cưới bằng tiếng Nhật để trực tiếp truyền đạt lòng biết ơn đến tất cả mọi người ở Nhật Bản, những người đã hỗ trợ chúng tôi cho đến nay.

Lễ thành hôn và những cố gắng trong tiếng Nhật

(結婚式と日本語での努力)

Ngày cử hành hôn lễ là một ngày thật đặc biệt và đầy cảm xúc. Chúng tôi đã cố gắng chuẩn bị thật kỹ càng để thực hiện nghi thức bằng tiếng Nhật cho trang trọng và đúng với truyền thống của giáo hội tại đây. Tuy có những lúc còn hồi hộp và lo lắng, nhưng nhờ sự giúp đỡ của quý cha, quý thầy cùng mọi người trong giáo xứ, buổi lễ đã diễn ra thật ấm cúng và trọn vẹn.

Việc sử dụng tiếng Nhật trong các phần của hôn lễ cũng là một thử thách lớn đối với chúng tôi, nhưng chúng tôi đã nỗ lực học từng câu, từng lời cầu nguyện để thể hiện lòng tôn trọng đối với giáo xứ và đất nước nơi chúng tôi đang sinh sống. Nhờ sự nâng đỡ của mọi người, chúng tôi đã có thể hoàn thành nghi thức một cách tốt đẹp.

Ngoài ra, mọi người trong nhà thờ và bạn bè đã hỗ trợ tôi rất nhiệt tình, và tôi đã có thể cảm nhận được sự kết nối giữa mọi người. Qua quá trình chuẩn bị, tôi cảm thấy rất hạnh phúc khi được tổ chức đám cưới tại đây.



ジャンさんご夫妻と息子のアン君

全文と
日本語訳は
右記から→

福岡教区セクハラ対応窓口

セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談

セクシュアル・ハラスメント相談窓口

電話 080-2694-4182

受付時間 月～金(祝日を除く)

10:00～12:00 13:00～16:00